

No.84
2018
11/13



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



11・8 八地申第6号 八高・川越線209系ドア故障に対する緊急申し入れ交渉

団体交渉を経て思うこと…

ハッキリと主張しよう!!

11月8日、申6号交渉において会社から以下のような指摘がありました。私たちからは『当該乗務員は再三再四回送扱いにするよう要請した』と主張しましたが、支社からは「乗務員から〈このまま走らせても良いのか〉といった声はあったが「空車扱い」「回送扱い」といった具体的な要請は2173Hまで把握していない。」とのことでした。

要するに私たちは回送扱いにしてほしいという要望を含めて「このまま走らせていいのか」と訴えたつもりが、ハッキリとした意思表示になっていなかったことから、のちに指令とのやりとりを文字おこししてみると、支社の言う通り“具体的な要請にはなっていない”のだと言えます。

こうした事実を私たちは次への教訓としなければなりません。

一つは『このようにして欲しいという意味はハッキリと言葉で表現すること、そしてやはり今回のようにしっかり記録に残ることから『指令とのやりとりは録音されている無線で行なう』ことではないでしょうか。



**現場に居る自らがしっかり判断し
もっとも安全と思われる手法を
ハッキリと主張して安全を守ろう!**

